

□議員名：奥 良秀

1 都市公園の現状と将来へ向けての課題について

論点	街区公園（児童公園）の管理状況は適正にできているか。
回答	街区公園（児童公園）の一部は、小野田地区では地元自治会と管理協定を締結している。山陽地区では一部の公園は管理協定を締結しており、管理協定を締結していない公園も地元の方が草刈りなどをされ適切に管理していただいている。

論点	管理協定書の確認は地元自治会でできていると思われるか。
回答	特に小野田地区は地元自治会と管理協定を締結しているが、開設時期が昭和の時代からある。口頭での引継ぎや、文章を確認され自分達で受益者として維持管理をやって行こうと引き継がれる自治会もあるのではないかと思う。

論点	市職員が児童公園を点検しているのか。
回答	児童公園の点検については、職員が年2回夏と冬に行っている。点検の主な内容は、遊具と公園施設の点検、公園全体の見守りを行っている。

論点	児童公園の維持管理について、人手不足等地元の方から意見が出ていると思うがどのように対応しているか。
回答	維持管理の人手不足については、よく声を頂くが若い世代の方々にも積極的に声を頂き、継続して適切に維持管理していただくようお願いしている。

論点	協定書の中に、低・中・高木とあるが、その違いと管理者はどこになるのか。
回答	低木は、樹高が6センチメートル未満の木で自治会の方にできる範囲頑張って管理してほしい。中木は、樹高60センチメートル上3メートル未満の木、高木は、樹高3メートル以上の木になる。中高木は自治会の方には負担が生じるので、市や指定管理者が維持管理

	している。
--	-------

論点	近年では台風の大規模化等、枝が飛散したり樹木が倒れたりしている。市は、児童公園の中高木を適正に維持管理できているのか。
回答	児童公園の中高木は、相当な本数になる。今後は、もう少しこれまでに以上に手を入れていかなければと認識している。

論点	今後の児童公園の維持管理についての在り方をどう考えているか。
回答	社会的背景の変化により、公園利用者の形態も大きく変化してきている。利用実態に応じた形で今後は維持管理を考えていくことが必要だと思っている。

2 小中学校にあるプールの現状や維持管理状況と使用頻度を考慮した今後の維持・更新の在り方について

論点	老朽化が進むプールの維持管理はどのようになっているか。
回答	本市の小中学校のプールは、ほとんどが昭和30年から40年代に建設され老朽化が進んでいる。要望があれば、各校を回り確認の上、緊急度に応じて対応するようにしている。予算内で対応できるもの、年度末の予算執行状況により対応を検討するもの、多額の予算を要するため事業化が必要であるものなどを学校に知らせた上で対応している。

論点	保護者からの要望については、どのように対応しているのか。
回答	プールサイドの補修やフェンスの改修などの要望を聞いている。その際は、現地を確認した上で、理解が得られるように直接説明に努めている。修繕等については、限られた予算の中で学校等の要望に全て対応できている訳ではない。児童生徒が安全に学校生活や学習が行えるよう施設管理に努めている。